

⑤ お金をかけないで 新座を救う七か条

第六条 否温暖化を意識する

「否温暖化」= 寒冷化という言葉は、僕の造語です。自分のイメージで勝手に造りました。温暖化を遅らせるという意味なら「ストップ温暖化」とか他にも言葉はあります。今、世界中で二酸化炭素の排出量をいかに減らしていくかが問題になっています。しかし、それでは地球の温暖化は多分防げない。北極海の氷は溶け、ヒマラヤの氷河もアルプスの氷河も溶けている。海の中の生態系の破壊も進んでいる。鮭が日本の川に帰って来ない日が近づいているのかも知れない。昆虫達にも異変が起きている。地球温暖化は残念ながら「都合な真実」のようです。この真実に対抗するには、二酸化炭素を始めとする温室効果ガスをなるべく出さないことは勿論ですが、そういうガスを吸収する方向へ行くことが大事だと思います。要するに増え方を少なくするだけではなくて、今ある二酸化炭素を減らしていくことが地球を救う道なのではないか...地球を冷やしていく..それが否温暖化 = 寒冷化の考え方です。雑木林を増やし、畑を増やし、緑を増やしていく。黒目川や柳瀬川の護岸もなるべく自然護岸に戻していく。経済の発展に逆行しているようですが、地球を冷やそうと寒冷化している訳です。昔、当たり前のように行われていた植林を新座市でもやっっていく。アスファルトをなるべく作らない。できたら減らしていく。学校をはじめとする公共施設にはなるべく緑を増やしていく。それが新座を救う一歩になると僕は思っています。

たかやんの連絡先

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

自宅 042-456-8869

携帯 090-6497-5737

たかやんの応援団 で 検索

一生 懸命

研修に行ってきました！

1月10日、11日と研修に行ってきました。大津市にある「全国市町村国際文化研究所」で缶詰になったの研修でした。その研修の中で一番面白かったのが、大久保寛司さんのお話でした。「仕事とは価値を生み出すことです。」価値を生み出してなければ仕事はしていないことになってしまいます。」という言葉は学校の先生や市役所の職員、そして我々議員にとっても胸に響く言葉だと思えます。これから何年生きられるかはわからないけれど、たくさんの価値を生み出す仕事ができたら幸せです。大久保さんは「明るい雰囲気を作ることは立派な仕事です。」ともいいました。心がけたいと思います。



研修の初日、隣りは田中ゆきひろ。後ろは羽根よしやす

たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。1954年、東京都新宿区生まれ。西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。大学3年の時、朝日新聞の「今学校で！」を読み、教師になることを決意する。1977年から五中で10年、六中で10年、二中で1年、計21年間を子ども達と一緒に生き、授業に、クラスに、そしてテニスに燃える。2000年2月、市議会議員選挙で9768円で戦い975票で落選。2004年2月の選挙でも、お金をかけずに戦い1272票で初当選。たかやん塾で小中学生と共に歩みながら「教育」「財政」「福祉」「環境」問題を中心に発言を続けている。石神3丁目が住。好きなもの、浦和レッズと小野伸二。囲碁・将棋、テニス、サッカー、野球、バスケット。うどん、学校、子ども達。